



サローネサテリテ 2018: 未来のデザイン

若手デザイナーの展示、第 21 回サローネサテリテは、伝統を受け継ぐ職人技と新技術を匠に融合させた未来を暗示するデザインが登場します。

サローネサテリテは、35 歳未満の若手デザイナーに可能性を最大限に与えるために始まった展示です。4 月 17 日から 22 日まで、サローネ・デル・モービレ・ミラノの併催展示として開催され、未来のデザインを提供します。

650 人の若手デザイナーがロー・フィエラミラノのホール 13、15 にて 2 千 800 m² の展示会場を埋めます。入場口 CARGO 4 からは会期中通して一般の方でも無料で入場できます。

今年の併催展示のテーマは「アフリカ- ラテンアメリカ : ライジング・デザイン」と題し、南半球にスポットを当てます。アフリカとラテンアメリカは、クリエイティビティとデザインの 2 つの大きなメルティング・ポット。テーマは、私たちのデザインに対する常識を覆されたことから名付けられました。ラテンアメリカのパートは、社会的に阻害・排除された人々を社会復帰させる活動の経験のあるフェルナンド&ウンベルト・カンパーナ兄弟がキュレーションを担当し、アフリカのパートは、アフリカ・デザイン・アワード&デイズの創始者、フランス系モロッコ人のデザイナー、Hicham Lahlou が担当します。この展示の目的は、ヴァナキュラー（その土地に派生した）デザインで、現代の社会と環境問題に対処し、未来のライフスタイルの提案をします。

また、世界中から集まった若手デザイナーによるサローネサテリテ展示では、「継承」と「コンテンポラリー・シーン」の関係を、新技術と職人技によって作品を生み出し展示します。

審査員は以下のメンバーで構成されています：

Maurizio Riva, CEO Riva 1920; **Roberto Minotti**, CO-CEO Minotti; **Gianluca Gessi**, Gessi 社長; **Riccardo Bello Dias**, 建築家; **Stefan Scholten**, デザイナー; **Stefano Giovannoni**, デザイナー; **Porzia Bergamasco**, ジャーナリスト; **Suzanne Schwarz**, *Spectrooms* 編集長; **Luciana Cuomo**, 編集員 *DDN*; **Patrizia Malfatti**, ミラノサローネ プレスオフィス責任者- そしてサローネサテリテの創始者でありキュレーターである **Marva Griffin Wilshire**



過去に参加したデザイナーの作品も含め、多くの作品を厳選しました。(サローネサテリテは最大3回まで参加することができます)

サローネサテリテの高いレベルを維持するため、より多くの若手デザイナーに華々しいデビューのチャンスを与えるため、今年も非常に厳しい審査が行われました。

最後に、サローネサテリテ・アワードは今年第9回目を迎えます。需要と供給、ビジネスピープルとデザイナー、クリエイティビティと生産にフォーカスを当てます。このアワードは、デザイン界をリードする人物で構成された国際審査委員会より選ばれる上位3位に授与されます。

Salone del Mobile.Milano Japan Press PR

Yuki Yamamoto 山本幸

yuki@milanosalone.com

Press info:

Marva Griffin Wilshire

Patrizia Malfatti

press@salonemilano.it

2018年2月7日 ミラノ